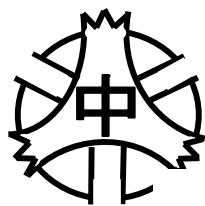


学校だより



富士宮市立北山中学校
令和8年7月7日(火)

学校 HP では、カラー版の
紙面をご覧ください。



学校 HP

学校教育目標「夢に向かって 自ら学び 高め合う生徒」

道徳の授業「一人一人はかけがえのない存在」から学んだこと

校長

以下に紹介する文章は、道徳の授業を通して、皆さんが、感じたことや考えたことです。本当は全員の考えを皆さんにご紹介したかったのですが、紙面上限りがありますので、一部をご紹介します。友達の意見から、皆さんの考えがさらに広がり、深まるとよいなと思います。皆さんの感想を読ませていただいて、この授業を実施できて本当によかったと思っています。

- ・私がこの世に生まれてこられたこと、今日のお話を聞いたことは、本当に素晴らしいこと、すごいことなのだなと思いました。そして、私の見た目に対して、お母さん、お父さんに、「〇〇が嫌だ」なんてことは絶対に言わず、産まれることが奇跡なこともを産んでくれたことを感謝したいです。そして、私をこの世に与えてくださったからこそ、命を大切にし、悔いのない良い人生を歩みたいです。
- ・私たちが健康体で生まれてこられたことは本当に貴重なことだということを実感しました。だからこそ命を大事にしたいし、まちがっても親にひどいことを言ったり、自殺など命を軽んじる行動はしたりしてはいけないと思いました。私も自分の容姿に自信がないのですが、先生のお話を聞いて考え方が変わりました。今、私が私として生きていられること、健康でいられていることが奇跡だと思いました。
- ・本当の命の大切さ、尊さを学ぶことができました。この世に誕生した瞬間から身体に障がいを抱えている人も少なくない聞き、もっと生きるということに責任を持って、力強く生きたいと思いました。
- ・僕は生きることの大切さ、こどもの身体のもろさを知ることができました。なので、僕は自分の身体を大切にして、無謀なことをせず、家族を悲しませないようにしたいです。そして、家族の大切さ、友人の大切さ、全てを感じながら、これからその人たちに感謝をして生きていこうと思いました。
- ・今日の道徳の授業を受けて、今までは何も考えていなかったのに、生まれてきたことはすごい奇跡なのだと思うことができました。正直、前まではそんなことなど考えたことなんて全然なかったから、もう少し自分の命を大切に扱っていきたいと思います。そして私が今ここに居て、好きなことができているのは、私の親や家族のおかげなのだ改めて実感することができました。正直、親とは最近、長い間直接何かを話す機会がなかったので、日頃の感謝をこめて話してみたいと思いました。
- ・自分はいつもポジティブじゃなくてネガティブに考えてしまうことが多く、毎回、自分を責めてしまい、いろいろなことがたまり体調をこわしてしまうことがたくさんありました。なので、これからポジティブに考えストレスをためないようにしたいと思います。命は一つしかないし、生まれてくるのはすごくめずらしいことなので、しっかりと自分の命を大切にし、家族がいることのありがたさを理解してこれから生活していきたいと思います。
- ・今日学んだことは、「一人一人はかけがえのない存在」ということです。一人が生まれるのには、10代前で1024人いると分かりました。その1024人の一人が欠けてしまうと、私たちはいません。この1つの命がどれだけ奇跡で、どれだけ大切か分かりました。空から糸が落ちてきて針穴に入るくらいの難しさなので、私たちの命は大切です。何もなく、無事に生まれることも奇跡です。私は自分の命、そして、周りにいる友達の

命を大切にしていきたいです。お母さんや小さい頃からお世話になっている人にも、感謝の気持ちを忘れず今後生活をしていきたいです。

- ・生まれてくることの難しさや、ここまで健康で生きてこられたこと全てが奇跡で感謝しなければいけないことだということが分かりました。そのことから、「一人一人はかけがえのない存在」であるという言葉の意味が分かったような気がします。自分も周りにいる人もかけがえのない存在であることは忘れてはいけない事実だと思いました。今回学んだことを大切に、「一人一人はかけがえのない存在」という言葉を忘れずに過ごしていきたいと思いました。
- ・命の大切さが分かりました。話すときに丁寧にゆっくりと言ってくれて、とても聞きやすかったです。絵本で読んでくれた「隣の席の増田君」も、とてもいい話でいいなと思いました。北山中学校まできてくれてありがとうございます。
- ・85 億人以上の人たちがいてこそ、自分が今ここにいるので、今後も、「死にたい」なんて思いたくもないし、「死ね」なんて言わないようにしたいと考えました。赤ちゃんは産まれる前の病気がいっぱいあるから、もっと妊婦さんや赤ちゃんに気を付けたり、気を遣って過ごしていきたいと思いました。
- ・命が大切なことは知っていたけれど、私たちが生まれてくるのは、すごい確率が低くて、しかも今まで健康に生きてこられたのは、とてもすごいことだと知りました。今までも命を大切に生きてきたけれど、これからは、周りの人や自分も大切にしていきたいと思いました。
- ・今までも命は大切だと分かっていたけれど、今日のお話で、生まれる確率、今ここに座っていることは奇跡だと改めて思いました。今の普通が当たり前ではないことを意識して生活していきたいです。嫌なことやつらいことがあっても、楽しいことがまっているや、まだ長い人生の中の 10 年、長く続いている連鎖が途切れちゃうとか、今日のことを忘れずにがんばりたいです。自分だけでなく、相手も大切な存在ということのを忘れずに、全員を大切にしていけるような人になりたいです。
- ・話を聞いて僕は、僕が生まれる可能性は 50 兆分の 1 と言われて、50 兆分の 1 と言われても分からなかったけど、宝くじの 1 等を 100 万回連続で当てるのと同じくらいと聞きました。他にも僕は、何人もの命がつながって生まれたとも聞きました。なので、容易に死についての話はせず、自分を大切にしようと思いました。僕は自分を大切にすると共に友達も大切にしようと思いました。
- ・「子宮」の字を見ると嫌な気持ちになる。それを家庭科の先生の言葉で考えがひっくり返ったと聞いて、考え方やその意味を知ると、知らなかったときのただ「嫌、気持ち悪い」という考えだけでなく、人の見る目も見え方も違うように見えてくるのではないかと思います。50 兆分の 1 ほどの確率でここに居る人たちなのだと気付いてみると、生きていることがすごい、いるだけで、考えることができるだけで素晴らしいことなのだと思います。これからは命と人を大切にしていきたいです。今日は考え方を考えるような話をしていきたい、ありがとうございました。
- ・今まで命についてあまり分からなかったけれど、自分は 50 兆分の 1 の確率で生まれてきて簡単にこの命を捨てられないなと思いました。先生も言っていたけれど、私も「子宮」という言葉が人前で言われるのが恥ずかしくて苦手でした。でも、言葉の成り立ちや意味を今日聞いてすてきだなと思いました。この先、いろいろなことがあると思うけど、たくさん経験して、人生を生きていきたいです。親には何事もなく産んでくれて、感謝したいです。
- ・私は今まで新しい命が産まれるのは当たり前だと思っていましたが、50 兆分の 1 の確率でしか生まれないと知り、まさに奇跡だなと思いました。その中でも、私が生まれてこられたのも、兄弟がいるのも、すべて両親のおかげだということにも改めて思うことができました。私はよく両親に反抗してしまうし、たくさん怒られて、「嫌い」と思うことが何度かあったけれども、本日のお話を聞いて、とても深く反省することができました。そして、これからはについても考えることができました。
- ・50 兆分の 1 の確率で生まれてきたことを聞いて、自分のことを大切に事事故やいじめにも気を付けたいと改めて考えることができました。自分だけじゃなくて友達を大切に学校生活を送りたいです。親には強く言っちゃったりしているけど、50 兆分の

1の私を産んでくれて、今も育ててくれていることに感謝していきたいです。校長先生からいつも聞く「一人一人はかけがえのない存在」の意味を、今日しっかり考えることができたし、改めて自分と友達、親、世界中の人を大切にしてことの大切さを考えることができたから、この話を忘れずに心にしまって、生きていきたいと思いました。

- ・自分の大切さや友達、家族の大切さも分かりました。家族はいつも自分に寄り添って、笑い話や思い出話など、気軽にいろんなことを話せます。友達は自分の生活の中で、困ったことがあれば気軽に相談にのってくれてありがたいと思いました。自分の周りにはたくさんの人が関わっていて支えてくれる存在がいると感じました。こんな私を生んでくれてありがとう。
- ・僕たちが生まれたのは奇跡なのだと思います。だから他の人の命を尊重して、決して人の命を奪うようなことはしてはいけないのだと改めて実感しました。また、他の人を傷つけるようないじめとかもしてはいけないのだと思いました。それに、世の中には生まれつきの障がいを持っている人もいることを知り、その人たちを差別したりせず、一緒に生きていくというのも重要なのだと思いました。この授業を受けて、改めて命の大切さと僕たちが生まれたのは奇跡だということを実感しました。
- ・自分はもちろんととても大事だし、もちろん周りの人もすごく大事な存在なのだと思います。だからこそ、周りの人を傷つける言葉や行動をしないようにしたいです。また、自分も嫌な言葉など言わないで、自分を大事にしたいです。全員大事な存在であることをより深く考えることができました。そして、私を育ててくれている家族にも改めて感謝を伝えたいなと思いました。
- ・この人生、悲しいことがあって、嫌な気持ちになってしまうけれど、つらいことだけでなく、嬉しいことだっていっぱいあるから、生きるっていいな—と思いました。
- ・道徳の授業で、私たちに命の大切さや、今私たちがここにいることがどれだけすごいかなど、分かりやすく教えてくださいありがとうございました。山梨県からわざわざ来てくれて、私たちにこんなに大事なことを教えてください、とても勉強になったし、みんなのことを大切にしたいと思ったし、「一人一人はかけがえのない存在」だということを知ることができました。これから、一人一人が今ここにいることがすごいことで、とても大切な存在だと思いながら過ごしていきたいと思います。
- ・私たちは「ものすごい確率で生まれてきたのだな」と改めて思いました。前の世代にいろいろな人の関わりが分かり、今の家族、親戚、友達、そして私がいることを知りました。親がいるからこどもが生まれてくる。親がいなければ「今の私はいない」ことも改めて思いました。私たちはいろいろな確率の中で生まれ、いろいろな人との関わりがあり、お母さん、お父さん、おばあちゃん、おじいちゃん、兄が生きています。感謝を忘れず、周りの人、自分をこれからも「大切に」していきたいと思います。
- ・自分がここにいる幸せさ、友達もここにいる幸せさを改めてすごく感じました。自分は生まれつきの障がいもないし、今も元気に生きていられるし、生きている今はすごく楽しくて、困ることもなく生活できていること、本当はすごいし、奇跡だなと思いました。だから、自分は自分を大切に、友達や今生きている人を大切にしていこうと思いました。今生きていられるのだから、自分の苦手や嫌いなこともがんばるし、やってみたいこと、挑戦したいことは、どんどんやってみようと思いました。
- ・楽しく明るい授業をしてくださりありがとうございました。私は、「一人一人はかけがえのない存在」について、よく知ったり、考えたりすることができました。また、自分の中にあった不安や悩み事について、少し気持ちが楽にもなりました。かけがえのない存在は、子孫を残したり、自分のため、誰かのためにも、関わるものだったりすると考えました。これからは、自分の生活に「一人一人はかけがえのない存在」ということと、命の大切さを、心に、過ごしていけたら良いなと思いました。
- ・僕はこの授業で、「一人一人はかけがえのない存在なのだな」と思いました。赤ちゃんの人形を持ってみて、「赤ちゃんがこんなに重い！」と思いました。命の鎖で、「僕はこんなにたいへんなことをして生まれたのだな」と思ったし、50兆分の1なんてことがびっくりしました。

特集「生徒一人一人をかけがえのない存在として大切にする教育の推進」

今年度、北山中学校では「生徒一人一人はかけがえのない存在である」という言葉を基盤とした様々な教育活動に取り組んでいます。

【特別講師をお招きした授業】

6月16日（火）と24日（水）に元教員の佐野 美佐子 様を講師に特別授業を全学級で実施しました。「なぜ、皆さん一人一人はかけがえのない存在なのか」という問いをもとに、命の誕生を題材に考えていきました。



【SOSの出し方講座】

6月23日（火）に市健康増進課の職員の方を講師に、SOSの出し方についての授業を全校生徒が参加して実施しました。「かけがえのない存在である自分や友達をどのように大切にすれば良いか」について、心とストレスの関係やその対処方法と関連付けながら学ぶことができました。



6月2日（火） 生徒総会

「靴のルール」について、全校生徒で意見交換を行いました。現行の「靴の色は白とする」という規則について様々な考えが出されました。多様な意見に耳を傾けながら、結論を出そうと議論を重ねる姿がとてもすばらしかったです。



6月9日（火） 卒業生1日先生の日

北山中学校をご卒業された大学生を講師にお招きして「夢に向かって行動する～夢を見つける方法」をテーマにお話をいただきました。講話を聞いた生徒から「『まずは何でもやってみる』『自分に何ができるか考える』という言葉が印象に残りました」という感想が聞こえるなど、自分の生活を見つめ直す機会とすることができました。



6月 18 日（木） 3年生壮行会

最後の試合や発表会に挑む3年生にエールを送ることができました。1・2年生の想いを受け、自分を信じ、仲間を信じて活動する3年生の姿を期待しています。



7・8・9月の主な行事予定

7月7日（火）あいさつ運動
8日（水）4時間日課
11日（土）・12日（日）中体連地区大会
15日（水）～17日（金）三者面談
21日（火）三者面談
22日（水）給食終了
23日（木）1学期終業式

8月25日（火）2学期始業式
26日（水）給食開始
9月2日（水）県学力調査（3年）
課題テスト（1・2年）
4日（金）生活習慣病検診（1年、対象者）
7日（月）英語弁論大会
学校徴収金振替日
9日（水）4時間日課
14日（月）5時間日課
17日（木）メディアコントロールデー
25日（金）定期テストⅡ